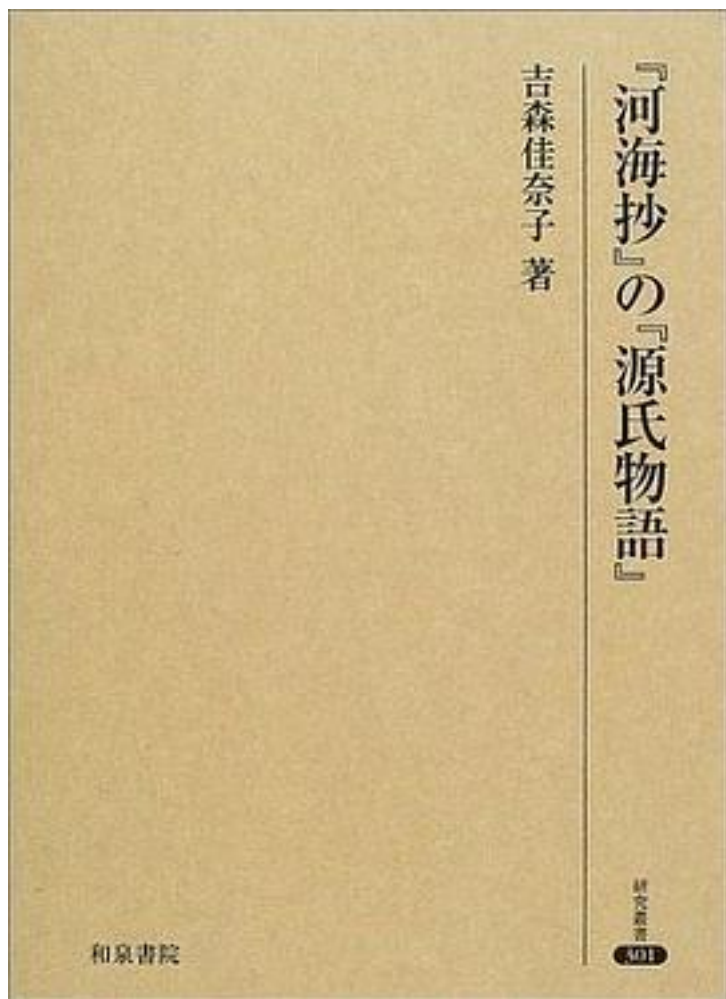


# 『河海抄』の『源氏物語』



[『河海抄』の『源氏物語』\\_ダウンロード1\\_](#)

著者:吉森佳奈子

出版者:和泉書院

出版时间:2003/11

装帧:

isbn:9784757602243

本書は、『河海抄』が成り立たせた『源氏物語』とそのゆくえについての考察である。

『源氏物語』について、近代的な読みの制度（わたしたちにとっての『源氏物語』）をいったん括弧に入れ、『河海抄』がどのような知のうちに『源氏物語』を成り立たせていたかを明らかにする。

『河海抄』は、さまざまな史実や文献を挙げているだけのようにも見えるが、その例の列挙によって、『源氏物語』にいわば息を吹きこむ。それを、「注釈史」、「享受史」と言うのは正しくないであろう。『河海抄』の『源氏物語』と言うべきであり、それを見届けることから、それぞれの時代にそれぞれの意味をもってあった『源氏物語』（更新されてゆく『源氏物語』）として見ることに導かれる。そこから、それとは異なるものとしてある近代以降の、わたしたちにとっての『源氏物語』を問うことにもなる。

本書は、『河海抄』の知のありようを当時の文脈にそくして照らし出すことによって、テキストの受容、流布、また、歴史意識等をめぐる従来の通念を再検討しつつ、『河海抄』の『源氏物語』をあらわしだすことを試みたものである。

作者紹介:

1998年青山学院大学大学院文学研究科博士後期課程退学。1998年~2000年東京大学大学院総合文化研究科・教養学部助手。2000年~信州大学教育学部助教授。専攻分野は国文学史(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録:

[『河海抄』の『源氏物語』\\_ダウンロード1](#)

## 标签

日本

诗歌

日本文学

思维

历史

# 评论

-----  
[『河海抄』の『源氏物語』 下载链接1](#)

# 书评

-----  
[『河海抄』の『源氏物語』 下载链接1](#)